

2025 年 5 月 23 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ ボ ミ ッ ク
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 中 村 義 一
(コード番号：4591東証グロース)
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 今 井 利 哉
<https://www.ribomic.com/contact.php>

日本大学との共同研究契約終了のお知らせ

株式会社リボミック（東京都港区、代表取締役社長 中村義一）と日本大学産官学連携知財センター（東京都千代田区、センター長 兼板佳孝）は、2023 年 2 月付で共同研究契約を締結して、当社アプタマーumedaptanib pegol (RBM-007)について、増殖性硝子体網膜症（以下「PVR」）に対する薬理作用の検証を進めてまいりましたが、有効なデータ取得に至らず、2025 年 5 月 31 日をもって、本契約を終了することといたしましたのでお知らせいたします。

本研究では、日本大学医学部 長岡泰司 客員教授（兼任：旭川医科大学 医学部 眼科学講座 教授）と共同で、PVR の in vitro 及び in vivo の評価系の構築と、umedaptanib pegol の薬理作用の検証を目指し、種々の検討を重ねてまいりました。その結果、in vitro 試験において、umedaptanib pegol がブタ RPE（網膜色素上皮）細胞の細胞遊走を阻害することが確認されました。一方で、ブタ眼を用いて従来よりも臨床病態に近い動物モデルの構築にも取り組んでまいりましたが、現時点において有効なモデルの確立には至りませんでした。ブタ眼を用いた動物モデルの構築について追加的な検証を進めるには、試験期間のさらなる長期化及び高コスト化が見込まれることから、両者協議の上、共同研究を終了することといたしました。

本共同研究の終了に関わらず、PVR がアンメット・メディカル・ニーズの高い疾患である事実には変わりはなく、当社は引き続き当社開発品を用いた PVR 医薬品開発を進めてまいります。

なお、本件による 2026 年 3 月期業績への影響はありません。

以上